

2024年10月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

退職代行サービスを利用したことがある人は3.2%

株式会社アイデム

東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2024/10/01～2024/10/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2024/10/02～2024/11/05（35日間）

調査方法

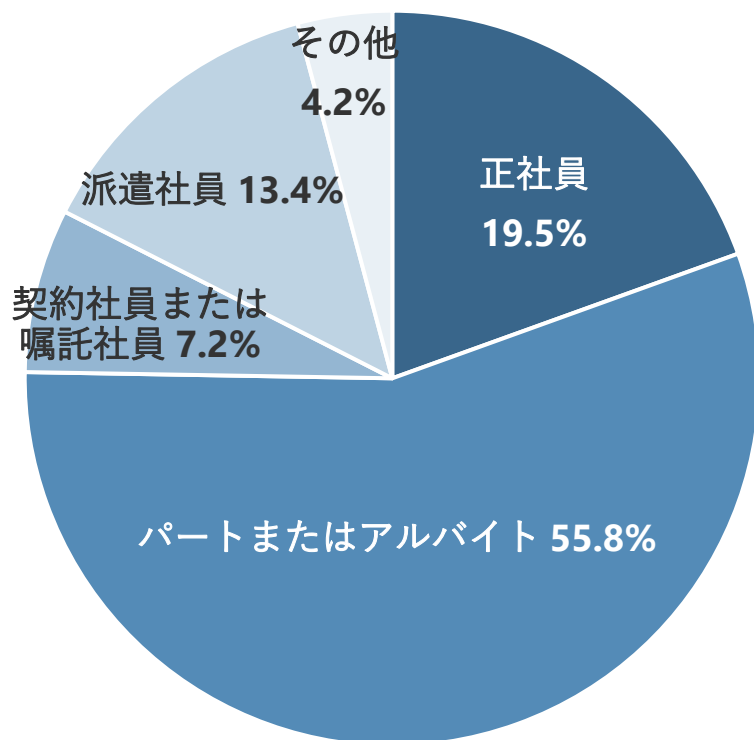
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

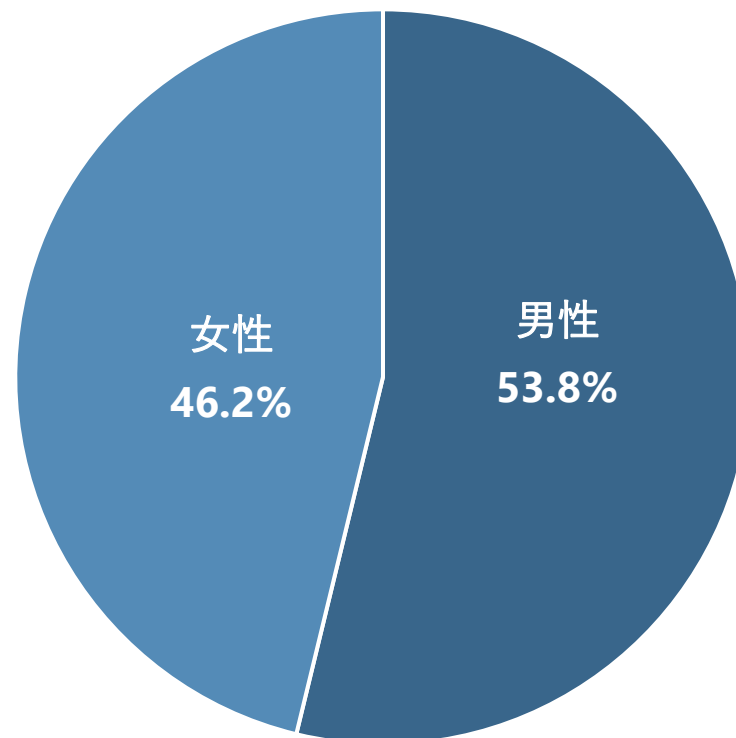
- ▶554件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



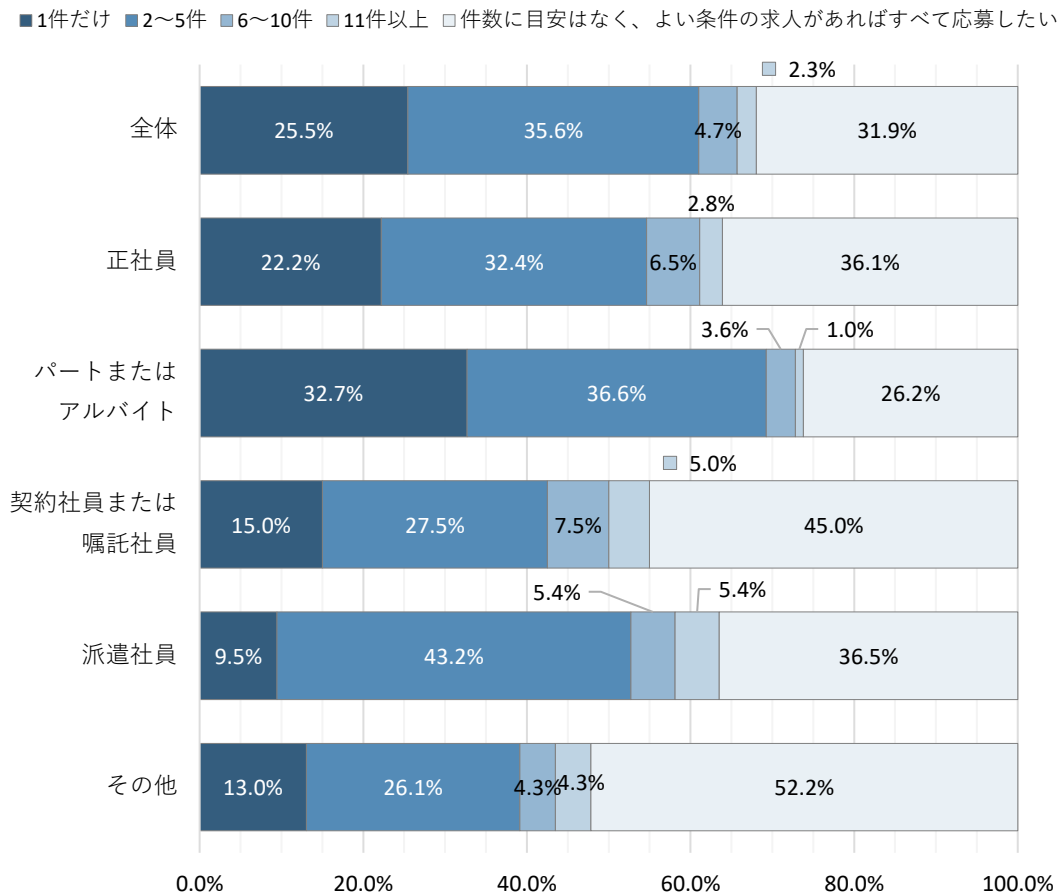
性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2～5件」が最も多く35.6%、次いで「件数に目安はなく、良い条件があればすべて応募したい」が31.9%、「1件だけ」が25.5%、「6～10件」が4.7%、「11件以上」が2.3%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の約8割となった。

希望雇用形態別にみると、「パートまたはアルバイト」では「2～5件」応募するとした割合が36.6%、「1件だけ」が32.7%で、応募件数に目安を設けて活動している人が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。



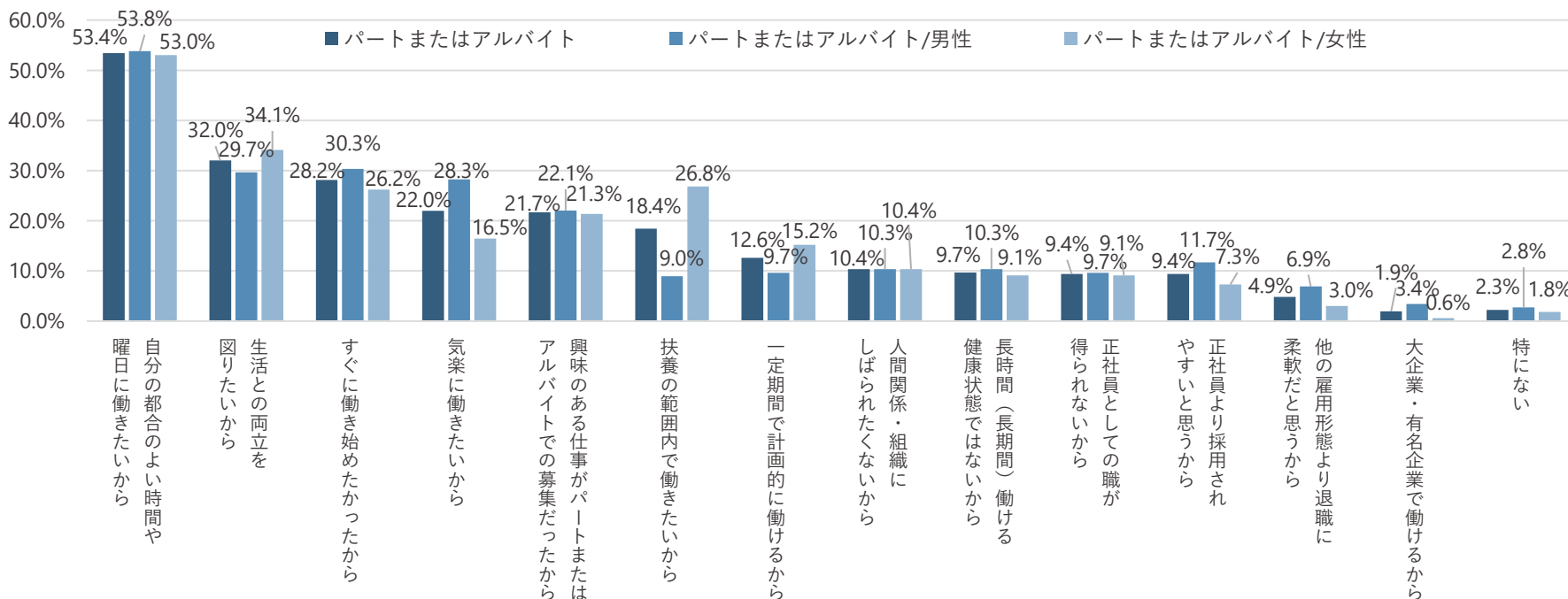
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で53.4%、次いで「生活との両立を図りたいから」が32.0%、「すぐに働き始めたかったから」が28.2%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「気楽に働きたいから」が11.8pt高くなった。自分の自由な時間を確保したい人や、緊張や責任を強いられない環境での就業を望む人の割合が、女性よりも高いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が17.8pt、「一定期間で計画的に働けるから」が5.5pt高くなった。ほかの活動との両立のために働く期間を決めて動いたり、収入に目安を設けて仕事をしたい人が男性よりも多いと考えられる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

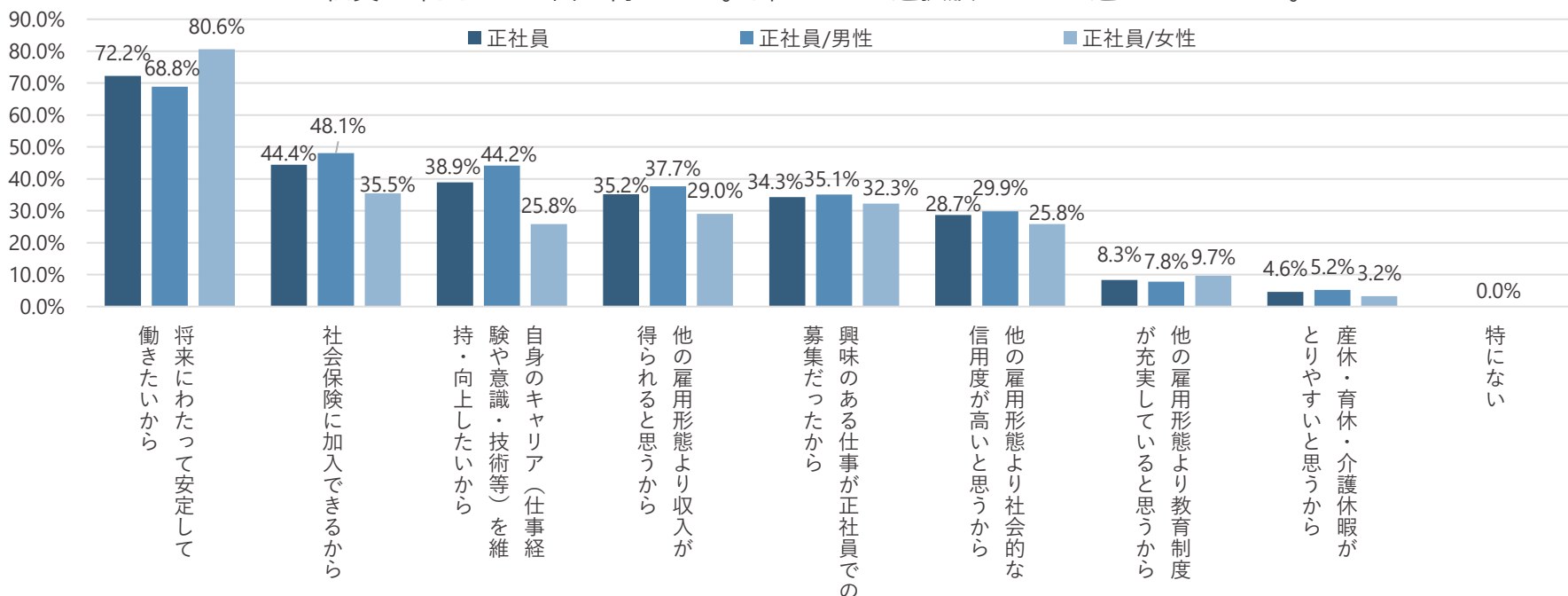


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最高値となったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が72.2%、次いで「社会保険に加入できるから」が44.4%、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が38.9%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「自身のキャリアを維持・向上したいから」が18.4pt、「社会保険に加入できるから」が12.6pt、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が8.7pt高くなった。仕事内容やキャリアを重視して仕事探しを進めていることが多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が11.8pt高くなった。正社員での雇用に、雇用の継続性を求めていることがうかがえる。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



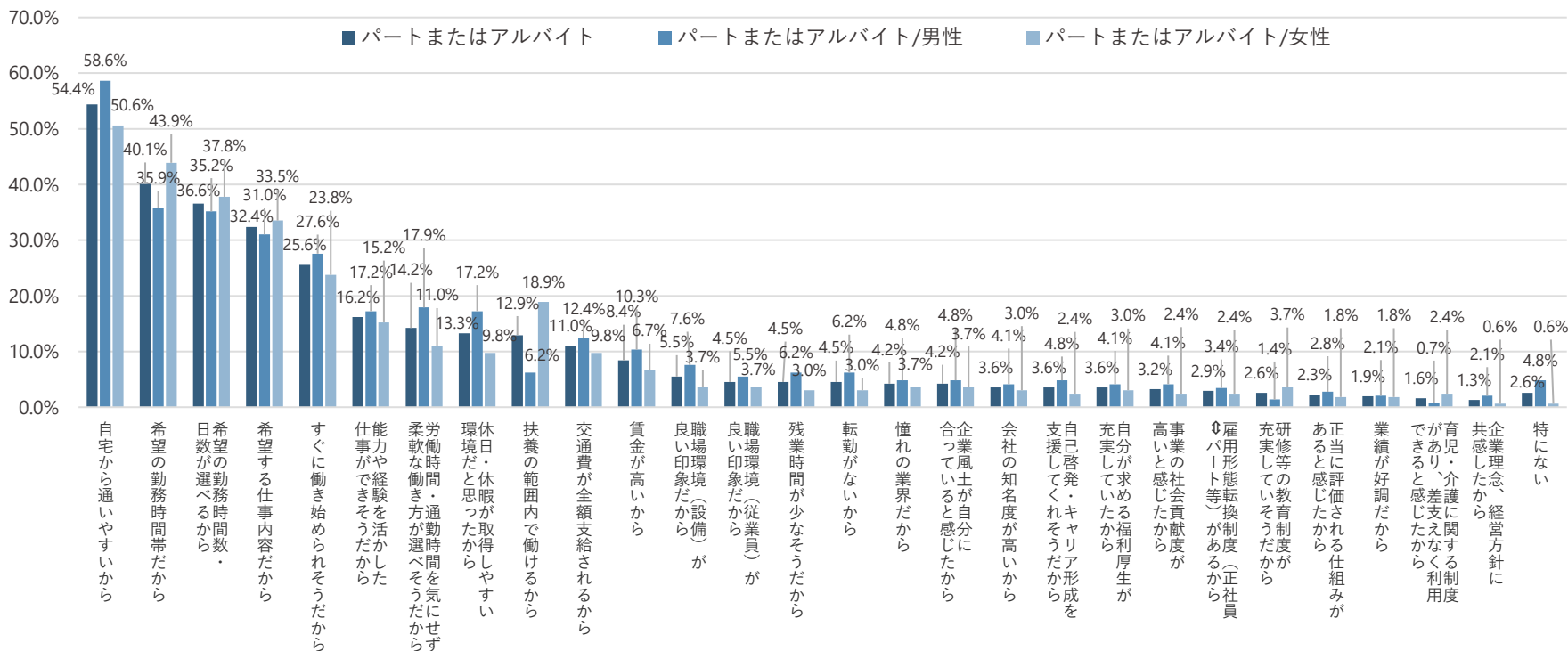
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で54.4%、次いで「希望の勤務時間帯だから」が40.1%、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が36.6%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「自宅から通いやすいから」が8.0pt、「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」が7.4pt、「労働時間・通勤時間を気にせず柔軟な働き方が選べそうだから」が6.9pt高くなった。男性でパート・アルバイトを希望する人は、気楽に働きたい傾向がみられたが（P5）、負担の少ない働き方ができる仕事選ばれているようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が12.7pt、「希望の勤務時間帯だから」が8.0pt高くなった。時間や収入の制限がある中でもできる仕事選ばれやすそうだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



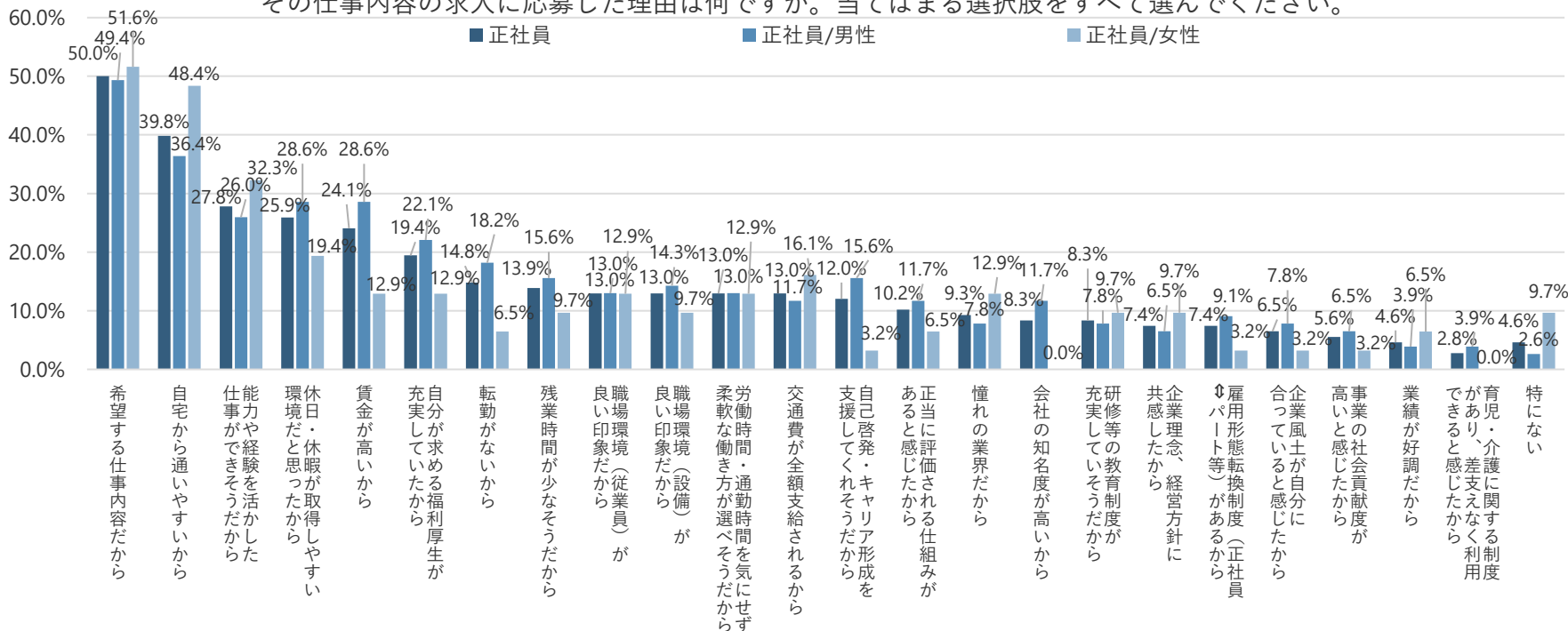
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「希望する仕事内容だから」が50.0%、「自宅から通いやすいから」が39.8%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が27.8%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「賃金が高いから」が15.7pt、「自己啓発・キャリア形成を支援してくれそうだから」が12.4pt、「会社の知名度が高いから」が11.7pt高くなった。男性で正社員を希望する人は、収入やキャリアの希望を満たせる職場が選ばれやすそうだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「自宅から通いやすいから」が12.0pt、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が6.3pt高くなった。職場までの通いやすさや、自身の能力が発揮できることを大切にしているようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

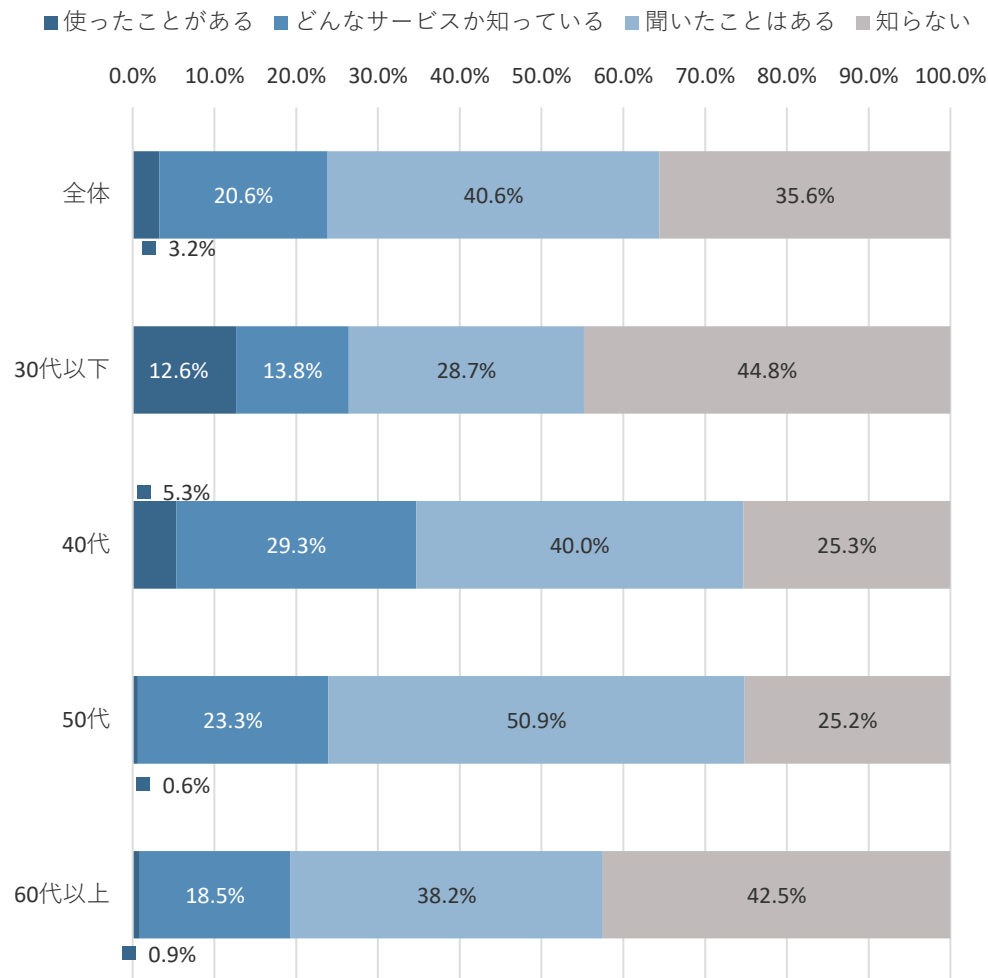


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、「退職代行サービス」を知っているかどうかをきいた。実際に「使ったことがある」は全体で3.2%、「どんなサービスか知っている」は20.6%、「聞いたことはある」は40.6%、「知らない」は35.6%となった。「使ったことがある」「どんなサービスか知っている」「聞いたことはある」を合わせると、全体では6割以上の認知があるようだ。

年代別にみても、「40代」と「50代」での認知度（「使ったことがある」「どんなサービスか知っている」「聞いたことはある」の計、以下同）が7割を超えて高かった。一方で「30代以下」と「60代以上」での認知度は若干少なく6割弱となった。

「30代以下」では、「知らない」が44.8%で最多となったものの、他の年代と比べて「使ったことがある」が12.6%と高くなった。「退職代行サービス」は近年メディアで取り上げられることも増え、注目を集めるようになったが、30代以下の人々がよく利用すると考えられるSNSなどでは、情報を自ら取りに行かなければ新たな発見につながりにくいこともあり、同じ世代でも認知が分かれているのかもしれない。

「退職代行サービス」を、ご存じですか？



「退職代行サービス」の利用を検討したくなる状況

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、事前に「退職代行サービス」について説明したのち、どんな状況になってしまったらこのサービスの利用を検討するか聞いた（複数回答）。説明は次の通り。

“退職代行サービスとは、労働者に代わって企業側に退職の意思を伝えたり、退職手続きの代行などのサポートをしてくれるサービスです。”

全体では「退職代行サービスは利用しない」が最も多く34.8%、次いで「人間関係のトラブルがあり、言い出しにくい」が32.3%、「ハラスメントを受けた」が21.3%となった。「退職の意思を誰に伝えるのかわからない」は8.7%だった。上司と部下など、職場で交流があまりない・普段からコミュニケーションをとれていない場合、このようなケースが増えるかもしれない。

年代別にみると、問題状況の中では「人間関係のトラブルがあり、言い出しにくい」がいずれの年代でも最多となった。「ハラスメントを受けた」では、50代までの年代では25%以上となっている。一般的に退職意向は上司に自ら伝えるものだが、あえて退職代行を利用するということは、上司が問題の当事者になっていることが多いのかもしれない。また、「30代以下」では「退職を引き留められる」が20.7%で、ほかの年代よりも高くなった。企業側は人手不足もあるのだろうが、引き留めるならばそれ以前から定着に向けたフォローが必要だと思われる。

あなたは、どんな状況になってしまったら「退職代行サービス」の利用を検討しますか（複数回答）

